
第9回広島肝臓プロジェクト研究センター シンポジウムのご案内

【日 時】平成25年6月29日(土)

13:00 ~ 18:00

【場 所】ホテルグランヴィア広島

4階 悠久の間

【会 費】500円

<プログラム>

【開会のあいさつ】

広島肝臓プロジェクト研究センター長 茶山 一彰

【一般演題】

13:05～ セッションI 炎症・再生

座長:広島大学大学院消化器・移植外科学 大段 秀樹
(株)フェニックスバイオ 立野 知世

1. 摘脾が慢性肝炎の病態に及ぼす影響についての検討

仁科 惣治、小山 展子、佐々木 恭、中島 義博、河瀬 智哉、富山 恭行、吉岡 奈穂子、原 裕一、吉田 浩司、日野 啓輔
川崎医科大学肝胆膵内科

2. カルバマゼピンによる肝再生促進機構の解析

川口 司、疋田 隼人、竹原 徹郎
大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学

3. 急性肝障害に対するヒト間葉系幹細胞由来肝細胞化細胞シートの有効性の評価

松本(板場)則子、汐田 剛史
鳥取大学大学院機能再生医科学専攻遺伝子再生医療学講座遺伝子医療学部門

4. ヒト骨髄間葉系幹細胞由来Muse細胞による損傷肝修復に関する研究

片桐 弘勝¹、西塚 哲¹、串田 良祐²、滝川 康裕³、出澤 真理²、若林 剛¹
岩手医科大学医学部外科学講座¹、東北大学大学院医学研究科細胞組織学分野²
岩手医科大学医学部内科学講座消化器・肝臓内科分野³

13:55～ セッションII NAFLD・免疫

座長:広島大学大学院消化器・移植外科学 田代 裕尊
広島大学大学院消化器・代謝内科学 兵庫 秀幸

5. 肥満に伴う肝内鉄蓄積の解析 ～C57BL/6 NとC57BL/6Jの比較～

是永 匡紹、辻 美保子、竹田 努、青木 考彦、是永 圭子、村田 一素、杉山 真也、西田 奈央、正木 尚彦、溝上 雅史
国立国際医療研究センター肝炎・免疫研究センター

6. NASHにおけるBallooned hepatocyte発生機序に関わる基礎的研究 :Sonic Hedgehog signalのAutocrine機構

柿坂 啓介¹、Gregory J. Gores²、滝川 康裕¹
岩手医科大学内科学講座消化器・肝臓内科分野¹
Mayo clinic, Department of Gastroenterology and Hepatology²

7. クッパー細胞と血小板の相互作用に着目した脂肪肝における虚血再灌流障害の検討

小川 光一、近藤 匡、田村 孝史、松村 英樹、福永 潔、大河内 信弘
筑波大学大学院人間総合科学研究科疾患制御医学専攻消化器外科・移植外科

8. Fcγ Receptor SNPの肝移植術後感染症に対する影響

清水 誠^{1,3}、田澤 宏文^{1,3}、田中 友加^{1,3}、大平 真裕^{1,3}、石山 宏平^{1,3}、尾上 隆司^{2,3}、田代 裕尊^{1,3}、大段 秀樹^{1,3}
広島大学大学院消化器・移植外科学¹、国立病院機構中国がんセンター臨床研究部²
広島肝臓プロジェクト研究センター³

14:45～15:00 Coffee Break

15:00～ セッションIII HBV

座長:大阪市立大客員教授/フェニックスバイオ学術顧問 吉里 勝利
高陽ニュータウン病院 高橋 祥一

9. 薬剤耐性HBVに対する核酸アナログ製剤の抗ウイルス効果の検討とgenotypeによる相違

柘植 雅貴^{1,2}、村上 英介^{1,2}、平賀 伸彦^{1,2}、阿部 弘美^{1,2}、今村 道雄^{1,2}、茶山 一彰^{1,2}
広島大学大学院消化器・代謝内科学¹、広島肝臓プロジェクト研究センター²

10. Host factor newly identified to regulate HBV life cycle

Hussein Hassan Aly Ibrahim、渡士 幸一、加藤 孝宣、脇田 隆宇
国立感染症研究所ウイルス第二部

11. PXBマウス由来の初代培養ヒト肝細胞に対するHBVの持続感染

石田 雄二^{1,2}、山崎 ちひろ¹、柳 愛美¹、吉実 康美¹、藤川 和幸³、茶山 一彰^{2,3}、立野(向谷)知世^{1,2}
株式会社フェニックスバイオ研究開発部¹、広島肝臓プロジェクト研究センター²
広島大学大学院医歯薬保健学研究院消化器・代謝内科学³

12. TALEおよびTALEヌクレアーゼを用いたHBVの増殖抑制の試み

佐久間 哲史¹、西川 綾美¹、茶山 一彰²、山本 卓¹
広島大学大学院理学研究科数理分子生命理学専攻¹、広島大学大学院消化器・代謝内科学²

15:50～ セッションIV HCV

座長:広島大学大学院消化器・代謝内科学 茶山 一彰
広島大学大学院消化器・代謝内科学 今村 道雄

13. トロンボキサンA2合成酵素は感染性HCV粒子形成を制御する

阿部 雄一^{1,2}、アリ・ハッサン・フセイン³、平賀 伸彦⁴、今村 道雄⁴、脇田 隆宇³、下遠野 邦忠⁵、茶山 一彰⁴、土方 誠^{1,2}
京都大学ウイルス研究所¹、京都大学大学院生命科学研究科²、国立感染症研究所ウイルス第二部³、
広島大学病院消化器・代謝内科⁴、国立国際医療研究センター肝炎・免疫研究センター⁵

14. HCV感染症におけるIFN-λ高産生樹状細胞の意義

由雄 祥代^{1,2}、考藤 達哉²、黒田 将子¹、松原 徳周¹、福原 崇介³、村田 一素²、杉山 真也²、松浦 善治³、溝上 雅史²、竹原 徹郎¹
大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学¹、国立国際医療研究センター肝炎・免疫研究センター²、
大阪大学微生物病研究所分子ウイルス分野³

15. HCVの細胞特異的な感染性におけるQuasispeciesの意義

福原 崇介、山本 聡美、岡本 徹、松浦 善治
大阪大学微生物病研究所分子ウイルス分野

16. Genotype 2b/JFH1キメラウイルス長期培養系を用いたIFN抵抗株の解析

須田 剛生¹、夏井坂 光輝¹、中馬 誠¹、中川 美奈²、柿沼 晴²、朝比奈 靖浩²、渡辺 守²、坂本 直哉¹
北海道大学大学院医学研究科内科学講座消化器内科学分野¹、東京医科歯科大学消化器内科²

17. Development of Hepatitis C Virus Genotype 3a Cell Culture System

金 ソルイ、伊達 朋子、横川 寛、河野 環、相崎 英樹、脇田 隆宇
国立感染症研究所ウイルス第二部

16:50～17:00 Coffee Break

【特別講演】 17:00~18:00

座長:広島大学大学院消化器・代謝内科学 茶山 一彰

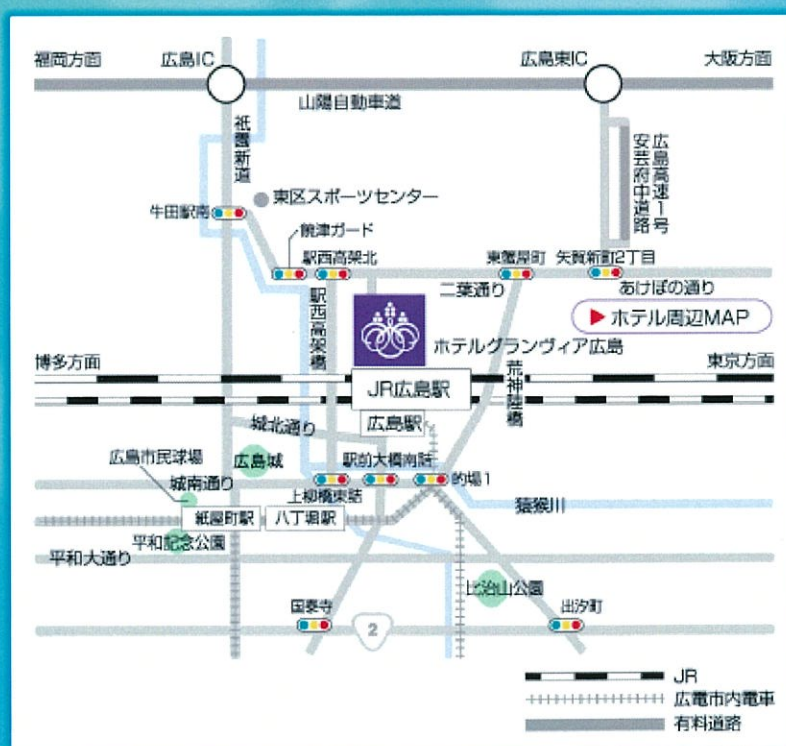
「抑制性T細胞の産生機構:TGF- β とNR4a」

慶應義塾大学医学部微生物学免疫学教室
教授 吉村 昭彦 先生

【おわりに】

大阪市立大客員教授/フェニックスバイオ学術顧問 吉里 勝利

本シンポジウムは、厚生労働科学研究費による補助を得ています
研究会終了後、意見交換会を予定しております



共催 / 広島肝臓プロジェクト研究センター・田辺三菱製薬株式会社